

No.716 July 2016

ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち

2016

7

No. 716

大沼浮嶋稲荷神社
夏越の祓なごしはらえ





広報あさひまちの全歴史、公開中

昭和 29 年 11 月創刊号からすべての広報紙が、PDFでご覧になれます。



▲トップ画面右上の帯から…
▼「広報あさひまち」を選び、「バックナンバーの一覧を見る」をクリック！



ご覧できますので、ぜひご覧ください。

「紙で残すことに意義がある」という意見もありましたが、縮刷版の頒布より、デジタル化して町ホームページで公開すれば、より多くの人の目に触れることができます」と語るのは、長岡信悦町広報委員長。

デジタル化にあたっては、役場庁舎で保存していた広報紙の現物をスキャナーで読み込み作成。保存状態の悪いものや欠品については、個人所有のものを借用するなど、町民の皆さんの協力もありました。誰でも気軽に閲覧できますので、ぜひご覧ください。

町はこのたび、昭和29年に朝日町が誕生した当時から約60年分すべての広報紙をPDF化し、町ホームページで公開しました。

平成26年度に迎えた町制施行60周年を節目として、平成27年度から事業費49万円をかけて作業をすすめてきたもの。縮刷版を発行するか、デジタル化を進めデータ公開を行うかについては、町広報委員会でも何度も協議を重ね、決定しました。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News 広報あさひまちの全歴史、公開中
- P4 特集 朝日中学校 スポーツの星
- P8 町政スポット
 - ・認知症カフェ「ほっとカフェ」を開設しました
 - ・「朝日町緑の少年団」結団式
 - ・町防災無線訓練放送についてのお詫びとお願い
 - ・町職員採用試験案内
- P10 朝日中2年生職場体験学習「キャリア・スタート・ウィーク」
- P12 住人十色
- P13 町小学校水泳記録会、各種大会の成績
- P14 まちレポ
 - ・交通安全町民大会 ・高田の古民家で作品展
 - ・星の会「影法師コンサート」
 - ・西五百川小「マイブック」を選ぶ
 - ・お田植えまつり ・西村山地区自動車安全運転競技大会
- P16 健康あさひるばんざい、朝日町文化財探訪
- P17 それいけ！協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 町民の声
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん
- P20 朝日サンフラワーズ 全国大会出場決める

表紙の写真



大沼浮嶋稲荷神社に「夏越の祓」で「茅の輪」を設置したとの情報をいただき、6月29日、早速足を運んでみました。「夏越の祓」とは、旧暦の6月末に半年分の穢れを落とし、後半の健康と厄除けを祈願する伝統行事です。新暦では6月30日頃、各地の神社で行われています。茅でできた輪を8の字を描くように交互に3度くぐり抜け、参拝を行うと、病気や災いを免れるそうです。広報担当もしきたりになって、健康祈願をしてきました。

町長歳時記 (121)

時間

～ 時間の使い方は いのちの使い方である ～

時間というのは確かなもので、確実に過ぎてゆき、そしてまた、確実にやってきます。

そもそも私たちは、この時間がなければ存在できない世界に生きているのです。同じ時間、同じ空間に複数のものが存在するということはできません。しかし同じ空間であっても、そこに時間という概念があることによって、異なるものが入れ替わり存在することは可能です。今この場所にいた人が、1時間後に別な場所に移動し、1時間後この場所には別の人が立っていた、などということが実際に起きています。これが私たちが生きている現実の世界で、至極もったもなさであります。

しかし時間は、私たちの意志とは関係なく、刻一刻と過ぎてゆき、また刻一刻とやってくるのです。

そこで重要になってくるのが、活きた時間の使い方です。私たちはただ漫然と時を送り、いつか気が付いた時に、何年または何十年と時間が経過してしまっていた、などということが起こってしまいます。その中でいかに自分の意思ある生き方をしていくか。悔いなく、一日一日をいかに精一杯生きていくか。そんな生き方が、自分に対して正直な生き方となり、悔いのない生き方に繋がっていくのではないかと思います。

ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子氏がこんなお話をしています。「時間の使い方は、いのちの使い方である」と。「つまらないつまらないと、考えながら過ごした時間は、その人の人生の中につまらない時間として刻まれ、『お幸せに』と願いながら過ごした時間は、愛と祈りのこもった時間として残るのです」「どんな仕事をしているかが尊いことではなく、どんな思いで仕事をしているかが尊さを分ける」と。この言葉を胸に、日々真面目に謙虚に、大切な時間を全うしていきたいものです。

朝日町長 鈴木浩孝

朝日中学校 スポーツの星

6月18、19日に開催された西村山地区中学校総合体育大会（Ⅱ以下「地区中総体」）。朝日中勢の活躍はめざましく、多くの団体・個人が、県大会への出場権を得ました。

少子化による部員数減少で、部活動の状況は年々厳しいものとなっていますが、スポーツに真摯に取り組む子どもたちの瞳の輝きは変わりません。今月は朝日中スポーツの星たちにスポットを当て、特集します。



存続の危機だった3年前

朝日中ソフトボール部の地区中総体優勝は、平成元年以来28年ぶりの快挙。昨年10月に行われた県南ブロック新人総合体育大会優勝も含め、近年にない快進撃が続きます。彼女たちの強さについて、顧問の齋藤健先生は「経験量と1人ひとりの意識の高さ」と語ります。今でこそ3年生9人、2年生10人、1年生3人と朝日中運動部に占める女子部員数最多を誇りますが、現3年生の入部前は、部員不足による存続の危機を迎えていました。

堅実に培ったチームの地力

「2学年上は部員数0。休部の危機をつないでくれたのが、今の3年生です」。先輩部員の不在で苦勞の多い分、実戦経験は県内随一。また、入部当初から『全中（全国中学校体育大会）出場』という大きな夢に向けて、基礎から地道に取り組んできました。「飛び抜けたスター選手はいません。だからこそ、チームの絆と地力で勝ってきたという確かな自信があります。徐々に力を蓄え、今は準備が整ったという感じです」

輝きを共に支えるサポーター

子どもたちはもちろん、そのやる気を後押しする強力なサポーターの存在も忘れてはいけません。

平成7年からソフトボール部のコーチを務める長岡浩之さん（大町）は、大会前の強化期間となれば、ほぼ毎日グラウンドへ通い、指導にあたっています。現在のチームについて「モチベーションの高さが素晴らしい。上にいけば自然と強豪にぶつかりますが、例え負けてもそこから多くを吸収して強くなる。こちらから教え甲斐がありますね」と太鼓判。そんな長岡コーチを子どもたちも信頼し、その声に応えます。また、普段の生活から子どもたちを支える保護者会代表の安孫子幸弘さん（西町）は「私たちも気持ちはチームの一員。子どもたちと同じプレッシャーの中、励まし合ってきました。大変だと感じることはほとんどありません。最近では地域の方々も練習試合からたくさん応援にきてくれたり、嬉しいことの方が多いです」と笑います。

チーム全体が上昇志向。随所から雰囲気の良いと、地に足のついた安定感が伝わってきました。



ソフトボール部 地区中総体 優勝



苦しい試合こそ声を出し、チーム一丸でプレイした結果の優勝。この経験は今後にも生きてくるし、部員1人ひとりの力が上がっているのを感じています。部長として、大会までの限られた時間を有効に使えるよう、練習は常に素早い行動を心がけています。目標である「東北大会」、そして「全中」出場の夢を、このチームで達成できるように頑張ります。



ショート 澤田 美咲 部長（大町）

エースとして、いつもチームみんなの想いを背負って投げています。投げ込みは1年の頃から、特に冬期間も力が衰えないように、練習場で1日200球は投げてきました。試合では、相手チームの盛り上がりにも呑まれそうになる時もあります。そんな時こそ声を出し、仲間のピンチは助け合ってきました。チームの絆と日々の練習の成果を信じて、県大会も必ず突破してみせます。



ピッチャー 海藤 理子 さん（常盤）

1年生の初めから外野手で試合に出ていて、周りよりも多く実戦経験があります。その分チームが緊張していたり、ミスが続いて落ち込んでいる時には、自分が率先して仲間を支えられるになりたいと思っています。普段どおりの力が発揮できれば、このチームは強いので、県大会も突破できるはず。苦しい時こそ笑顔を忘れず、1つひとつの試合を確実に勝って、東北大会に行きたいです。



セカンド 安孫子 遥 さん（西町）





卓球女子団体 地区中総体 2位



女子卓球部 部長
田中 都恵さん
(四ノ沢)

女子団体は、6人中3人が中学から卓球を始めたメンバーです。県大会進出という結果を出せたのは、日々の練習の成果と、全員が自分の役割をきちんと果たせたからこそです。個人でも3人が県出場。続けて良い成績を持ち帰れるよう頑張ります。

3年生を中心によくまとまっています。男子団体の3位は惜敗でしたが、個人は2人が県出場を決めました。実力者の多い男子との合同練習が、女子の結果にも貢献しています。また、スポ少や町民体育館での夜間練習など、学校外での指導の力も大きいです。



卓球部 顧問
菊地 重則 先生

西村山地区中学校 各種大会の成績紹介

※★印は県大会出場
おめでとうございます！



地区陸上競技大会 800m 1位
鈴木 滯弥さん
(大隅)

■平成 28 年度 西村山中学校総合体育大会 (6月 18 ～ 19 日／各会場)

【団体戦】▶1位…ソフトボール★、剣道女子★ ▶2位…卓球女子★、剣道男子★、バスケットボール男子、柔道女子 ▶3位…野球、卓球男子
【個人戦】▶1位…剣道女子 松田ちほみ★、柔道男子 50 キロ級 村山悦史★、柔道男子 60 キロ級 菊地翔吾★、柔道女子 44 キロ級 朽木叶★、柔道女子 63 キロ級 佐藤和夏子★ ▶2位…剣道女子 齋藤とも★、卓球男子 阿部将史★、卓球女子 阿部愛実★、柔道男子 73 キロ級 志藤圭介、柔道女子 44 キロ級 若月乃朱★、柔道女子 52 キロ級 鈴木七海★ ▶3位…剣道女子 小野舞夢★
【県大会出場】卓球男子 菅井颯人★、卓球女子 今田桃乃★、田中都恵★、剣道男子 菊地泰河★、剣道女子 堀美由★

■平成 28 年度西村山中学校陸上競技大会 (6月 28、29 日／天童市 ※6位まで掲載)

【男子の部】▶1位…800m 鈴木滯弥★ ▶2位…2年 100m 阿部崇希★、走高跳 阿部将史★、低400mリレー (伊藤大翔・阿部崇希・白田隆太郎・武田航河) ★ ▶3位…1500m 鈴木滯弥、200m 深澤大樹 ▶4位…200m 長岡真生、1年 100m 伊藤大翔、走幅跳 阿部崇希★、砲丸投 鈴木優斗 ▶5位…400mリレー (深澤大樹、鈴木滯弥、鈴木智也、柴田涼) ▶6位…1年 1500m 鈴木一麻
【女子の部】▶2位…砲丸投 小野舞夢★ ▶3位…3年 100m 長岡桜子★、200m 長岡桜子、走幅跳 近藤千愛里 ▶4位…1年 100m 志藤侑可子、砲丸投 佐藤和夏子、走高跳 志藤侑可子 ▶5位…3年 100m 安達千尋、2年 100m 齋藤とも、1年 1500m 関根咲、400mリレー (近藤千愛里、渡邊志野、和南城陽奈、長岡桜子)、低400mリレー (岡崎優佳、村山鮎夏、関根萌、佐藤佑里) ▶6位…1年 100mハードル 布施来瑠未、1年 1500m 村山鮎夏



柔道男子個人 50kg 級、60kg 級 柔道女子個人 44kg 級、63kg 級 以上4種 地区中総体 優勝

全試合勝ったものの、危ない展開や、思うように一本がとれない試合もありました。「相手を怖がらず、自分から前に出る」という先生方の指導を忘れず、基礎練習から手を抜かずに励んで技の完成度を高めていきます。県、東北はもちろん、目指すは全中です。



男子主将 50kg 級 優勝
村山 悦史さん
(助ノ巻)



女子主将 44kg 級 優勝
朽木 叶さん
(西町)

今大会では緊張して、自分の普段の動きができていませんでした。ここ一番の集中力を常に維持できるよう、県大会までしっかり調整したいと思います。いつも指導されるのは「積極的な攻めの姿勢」。目標の全中出場に向けて、これからも練習を頑張ります。



剣道女子団体 地区中総体 優勝 剣道男子団体 地区中総体 2位

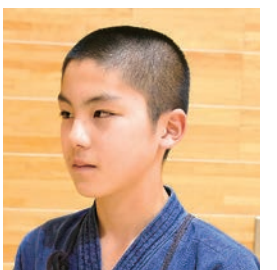
伝統の「誇り」と「指導」の力
朝日中剣道部は、県内でも「常勝」のイメージが定着していますが、その背景には、常に強豪朝日中の伝統を守ろうと努力する子どもたちの姿があります。
現在剣道部は男子が1年生1人、2年生2人、3年生4人の合計7人と、女子は2年生5人、3年生2人の合計7人。団体戦は5人での出場ですが、特に男子は7人中4人が中学校から始めた選手で、今回の県大会進出は大健闘といえます。
「剣道は人としての成長が結果にそのまま表れる競技。伝統と誇りが精神面を、歴代の先輩方による指導が技術面を支えてくれています」と語るのは、顧問の鈴木陽子先生。「強い相手にも『絶対勝てる』というイメージが、芯のある一本につながります。朝日中は強いんだ、という誇りが、その良いイメージの源になっています」
1週間のうち水・金曜日は学校の武道館、火・木の夜間は、大谷小体育館で、大谷剣道スポーツ少年団の活動として練習しています。スポ少で稽古をつけてくれるのは、地域の剣道部OB・OGの皆さん。また、小学生から高校生まで、多くの仲間と共に切磋琢磨できる環境が、今も彼らの強さを支えています。



剣道部女子 部長
松田 ちほみさん
(舟渡)

試合では常に「声で一本取る」気持ちで、自信を持って踏み込む心がけています。今大会は良い雰囲気でしたが、ここ数年、女子団体で全中出場を逃しているのが悔しいです。今度こそ全国の舞台で戦うために、最後まで気を抜かず、チーム一丸でぶつかっていきます。

今大会は、概ね事前にシミュレーションした通りの展開で、落ち着いて突破できたと思います。ただ、県大会はもっと苦しい試合になるはず。気合が足りないと言指導を受けることが多いので、まずは誰よりも大きい声を出し、気持ちから負けずに頑張ります。



剣道部男子 部長
菊地 泰河さん
(栗木沢)

平成 29 年 4 月 1 日付採用

町職員採用試験案内

職種	上級行政	初級行政	上級土木	初級土木	看護師
採用予定人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
職務内容	行政事務に従事		土木の技術的業務に従事		町立病院に勤務し、看護師の免許を必要とする業務に従事
年齢要件	昭和 62 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた方で、大学卒業程度の学力を有する方	昭和 62 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれた方で（4 年制大学卒業の方は受験できません。）	昭和 57 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた方で、大学卒業程度の学力を有する方	昭和 57 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれた方で（4 年制大学卒業の方は受験できません。）	看護師の免許を有する方又は平成 29 年 5 月まで当該免許を取得する見込みの方
住所要件	採用後、特別な理由がある場合を除き朝日町内に居住できる方				
試験日程	【一次試験】 教養及び専門試験、職場適応性検査 期日…9 月 18 日（日） 場所…朝日町役場 【二次試験】 …作文、面接試験 一次試験合格者を対象に後日実施				9 月中に作文、面接試験を実施
受験手続	受験申込書等必要書類を揃え、 8 月 12 日（金） まで、看護師については 8 月 31 日（水） まで役場総務課へ提出。（郵送の場合は同日必着）。※受験申込書の取得方法は、役場総務課（2 階）で直接取得、郵送による取得、町ホームページからダウンロードにより取得してください。 ▶問合せ先 総務課 ☎67-2111				

私たちと一緒に、町を元気に

～ 若手職員が語る「わたしの仕事」～

28 年度採用

富樫 幸姫
（健康福祉課 主事）

お子さんと、そのご家族が安心して暮らすための子育て支援を担当しています。地域とともに生きる行政が私の目標。町民の皆さんに寄り添う仕事ができるよう努めています。

28 年度採用

堀 隼聡
（政策推進課 主事）

山形直行バス、デマンドタクシーなどの総合交通業務を担当しています。町民の皆さんの貴重な足を確保し、住みやすい朝日町になるように日々の業務に取り組んでいます。

28 年度採用

菅井 元基
（農林振興課 主事）

畜産や水本地区の菜の花プロジェクト、榎平の棚田などの仕事を担当しています。農業は町にとって極めて重要なもの。日々勉強し、農家の皆さん、ひいては町民の皆さんの力になれるように努めています。

認知症カフェ「ほっとカフェ」を開設しました

■健康福祉課 地域包括支援センター係 ☎67-2156



第 1 回開催の様子（6 月 21 日）

認知症の方や地域の方が集うやすらぎの場として、町は認知症カフェ「ほっとカフェ」を開設し、その 1 回目が 6 月 21 日、町開発センターで開催されました。

認知症カフェは「外出するのが不安」という認知症の方や、認知症について知りたい、相談したい方などの交流スペースとして、近年全国的に開設が進んでいます。

当日は認知症についての簡単な勉強会や脳トレのゲーム、相談コーナーなどを実施。また、ボランティアサークル「ぽかぽかの会」が運営する「ぽかぽかサロン」と同日開催で、サロンでのお茶会やレクリエーションと一緒に参加できるようになっています。

平成 28 年度は 2 月までの毎月 1 回、定期開催（広報 6 月号に日程掲載）していますので、お気軽にお立ち寄りください。

ふるさとの自然を愛し、緑を守り育てる「朝日町緑の少年団」結団式

■農林振興課 農政係 ☎67-2114



▲団員みんなで、記念の集合写真
◀全員に授与されたワッペン

6 月 24 日、町で初めての「緑の少年団」結団式が宮宿小学校で開催され、町内 3 小学校の 4 年生 53 人が団員に任命されました。緑の少年団は国土緑化推進機構が推進する自主団体。平成 28 年 1 月時点で全国に約 33 万人の団員がいるとされています。

式では、緑の少年団運営協議会長の小林道和教育長が「ふるさとと自然を愛し、緑を育てる皆さんの活動に期待します」とあいさつ。団員の証となる緑のスカーフとワッペンが生徒に授与されました。今後、団員の 4 年生は、3 小学校で連携を図りながら、緑を守る奉仕活動や学習、レクリエーションを行います。

町防災無線訓練放送についてのお詫びとお願い

6 月 23 日の午前 10 時 15 分に、緊急地震速報が町防災無線で一斉放送されました。これは震度 5 弱を想定した訓練放送であり、全国一斉に行われたものです。

今回の放送に関して、町民の皆様に事前周知が不十分であり、お騒がせしましたこととお詫びいたします。また、今後も同様の訓練放送が行われる際には周知連絡を徹底してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

▶問合せ先 総務課 防災係 ☎67-2111



■生徒受け入れにご協力いただいた事業所です（写真紹介以外）。
ありがとうございました。

銚子朝日オーストリッチ産業センター
朝日町健康工房「ロイフェン」、Asahi
自然観、朝日相扶製作所(株)、(株)JAさ
がえ西村山朝日営農生活センターアグリ
朝日店、特別養護老人ホームふれあ
い荘、グループホームあさひ、西五百
川小学校、宮宿小学校、大谷小学校、
セブン-イレブン宮宿店、サンクス山
形朝日町店、(株)きらやか銀行宮宿支店、
盲特別養護老人ホーム和合荘
(敬称略、順不同)



1. 道の駅あさひまち りんごの森 2. (株)ニクニアサヒ 3. (有)朝日町ワイン 4. あさひ保育園
5. (株)ヒグチ 6. 教育委員会(教育文化課) 7. (有)近江屋 8. 地域振興サポート会社 まよひが企画



あさひ保育園
◆保育補助・園内清掃など

調理師になるのが夢なので、保育園で仕事ができるのが楽しみでした。子どもたちはすごく元気で、一緒に遊んだり、食事をするだけでも汗びっしょり。保育士という仕事はすごく体力が必要なんだと感じました。(阿部花穂)



(株)ニクニアサヒ
◆産業用ポンプ加工補助など

ポンプ部品の製造、検品から組み立てまで実際に体験しました。精密な部品は、100分の1ミリ単位の誤差でも不良品になります。1つ1つ人の手で検品する大切さと大変さを身をもって学びました。(村山陸)



まよひが企画
◆ウサビ運営・デザイン制作補助など

デザイナー志望なので、デザイン制作や、作成ソフトなどの勉強ができて嬉しかったです。大切なのは、「自分が楽しいだけでなく、お客さまの要望に合ったデザインをすること」だと学びました。(遠藤美翔)

職場体験を通じて…



朝日中2年生職場体験学習「キャリア・スタート・ウィーク」

7月5日から7日にかけての3日間、朝日中2年生による職場体験学習「キャリア・スタート・ウィーク」が実施されました。

実際の仕事を通して、職業観や働くことの意義、社会生活のルールやマナーなどを学習する取り組み。朝日町では平成18年

度から開始し、今年で11年目になります。

2年生64人が、町内21の受け入れ事業所に分かれて活動。地域に根ざした職場体験と、日ごろ接することの少ない異世代との交流などを通じて、「社会人」を意識する第一歩となりました。

5年男子	1位	記録	2位	3位
50 m自由形	海野 翔 (西)	42 秒7	佐藤慧典 (宮)	細谷慶太郎 (宮)
50 m平泳ぎ	本間樹真 (大)	58 秒8	渡辺 康 (宮)	柏倉 和 (西)
50 mバタフライ	志藤大地 (大)	49 秒7	鈴木凜太 (大)	渡辺皇紫 (宮)
50 m背泳ぎ	阿部大翔 (西)	53 秒7	阿部奏翔 (宮)	鈴木玄助 (大)

5年女子	1位	記録	2位	3位
50 m自由形	長岡桃子 (宮)	40 秒8	阿部桃花 (宮)	海野花歩 (宮)
50 m平泳ぎ	伊藤穂乃花 (西)	56 秒4	堀紗くら (大)	鈴木陽奈 (宮)
50 mバタフライ	菅井来夢 (宮)	1 分 00 秒 0	遠藤美咲樹 (大)	—
50 m背泳ぎ	白田桃香 (宮)	52 秒1	早坂優希 (大)	堀 美鈴 (宮)

6年男子	1位	記録	2位	3位
50 m自由形	伊藤昇汰 (西)	40 秒5	阿部将太 (宮)	阿部 司 (宮)
50 m平泳ぎ	渡辺友介 (宮)	53 秒3	長岡宜秀 (西)	長岡真聖 (宮)
50 mバタフライ	長岡 聖 (宮)	56 秒3	阿部海斗 (西)	村山拓海 (宮)
50 m背泳ぎ	長岡優大 (西)	54 秒3	會田 輝 (宮)	—
100 m自由形	渡辺天紫 (宮)	1 分 39 秒 4	遠藤柊吾 (大)	若月真都偉 (西)
100 m平泳ぎ	千葉青春 (宮)	1 分 58 秒 0	鈴木累可 (宮)	堀 菜汰 (大)
100 mバタフライ	夢田馨太 (西)	2 分 18 秒 4	阿部 嵐 (西)	—
100 m背泳ぎ	鈴木柊耶 (宮)	2 分 07 秒 2	藤田 晶 (大)	遠藤大空 (大)

6年女子	1位	記録	2位	3位
50 m自由形	松尾実乃里 (宮)	40 秒6	安藤梨華 (西)	—
50 m平泳ぎ	熊谷若葉 (宮)	58 秒 1	白田こころ (西)	—
50 mバタフライ	清野由奈 (宮)	1 分 04 秒 3	—	—
100 m自由形	長岡 蘭 (大)	1 分 45 秒 0	阿部菜々子 (宮)	—
100 m平泳ぎ	山賀季華 (宮)	2 分 00 秒 6	清野華鈴 (宮)	—
100 mバタフライ	白田優杏 (大)	2 分 07 秒 8	渡辺百花 (西)	—
100 m背泳ぎ	堀 雪菜 (大)	1 分 58 秒 5	設楽まひろ (宮)	熊谷 心 (宮)
200 m個人メドレー	菅井美聡 (宮)	4 分 00 秒 8	梅津彩果 (西)	—

200 mメドレーリレー	1位	記録	2位	3位
男子	西五百川 A	3 分 29 秒 7	宮宿 A	西五百川 B
	(西五百川 A の選手 … 長岡優大、長岡宜秀、夢田馨太、伊藤昇汰)			
女子	宮宿 A	3 分 14 秒 9	大谷 A	宮宿 B
	(宮宿 A の選手 … 白田桃香、菅井美聡、松尾実乃里、長岡桃子)			

200 mリレー	1位	記録	2位	3位
男子	宮宿 A	2 分 47 秒 8	西五百川 A	大谷 A
	(宮宿 A の選手 … 渡辺天紫、佐藤慧典、安藤 輝、阿部将太)			
女子	宮宿 A	2 分 46 秒 9	宮宿 B	大谷 A
	(宮宿 A の選手 … 菅井美聡、白田桃香、長岡桃子、松尾実乃里)			

改、東海林泰智、佐藤大地、岡崎麻末、藤田里
 ▼敢闘賞…大谷剣道スポーツ少年団 A (東
 海林妃那子、菊地香苗子、遠藤新太)
 ▼小学生高学年の部
 ▼敢闘賞…大谷剣道スポーツ少年団 A (東
 海林妃那子、菊地香苗子、遠藤新太)
 ▼敢闘賞…大谷剣道スポーツ少年団 (石垣
 改、東海林泰智、佐藤大地、岡崎麻末、藤田里

■第38回朝日町長杯争奪剣道練成大会
 (4月30日/朝日中学校 6月26日/町民体育館)
 【中学生女子の部】
 ▼1位…朝日中学校(松田ちほみ 齋藤瑞穂、
 小野舞夢、佐藤百恵、齋藤とも、渡辺りりか、
 堀美由)
 【小学生低学年の部】
 ▼敢闘賞…大谷剣道スポーツ少年団 A (東
 海林妃那子、菊地香苗子、遠藤新太)
 ▼敢闘賞…大谷剣道スポーツ少年団 (石垣
 改、東海林泰智、佐藤大地、岡崎麻末、藤田里

■第22回西村山陸上競技選手権大会
 (6月5日/寒河江高校グラウンド)
 【小学生男子の部】
 ▼4位…5年100m 志藤大地 (大谷)
 ▼5位…走高跳 柏倉和 (西五百川)、ジャ
 ベリックボール投 堀菜太 (大谷)
 ▼6位…5年100m 阿部大翔 (西五百川)、
 ジャベリックボール投 本間樹真 (大谷)
 【小学生女子の部】
 ▼2位…走高跳 阿部菜々子 (宮宿) ★
 ▼3位…5年100m 大沼愛華 (宮宿) ★
 ▼4位…走高跳 堀美鈴 (宮宿)
 ▼6位…800m 布施夢音 (宮宿)
 【高校一般女子の部】
 ▼2位…走幅跳 若月麻末 (宿・谷地高)

各種大会の成績
 …★印は県大会出場

7/5 平成 28 年度 町小学校水泳記録会

7月5日、町民プールを会場に
 行われ、町内3小学校の5・6年生
 92人が出場。それぞれの得意種
 目にエントリーし、自己記録の更
 新にチャレンジしました。



◀純恵さん(左)と郁さん(右)



朝日町初の野外音楽祭「霹靂祭」を開催

へきれきさい
 すみえ かおる
 小林 純恵さん (大町)、郁さん (本町)

町内大沼グラウンドに突如現れ
 たステージ。席の区切りはなく、老
 若男女誰しもが、流れる音楽を自由
 に楽しむ…。朝日町初の野外音楽
 祭「霹靂祭」の第2回目が7月9日
 に行われ、約70人の観客で賑わい
 ました。主催は大沼地区出身の小
 林さん姉妹。お2人にイベントを起
 こしたきっかけや、こだわりについ
 てうかがいました。

「元々姉妹で音楽好きで、野外
 フェスやライブイベントを朝日町で
 もやりたいと思い立ったのがきっか
 けです」と語る姉の純恵さん。「会
 場は母校の旧大谷小学校大沼分校
 のグラウンドがすぐに浮かんで、区
 長さんに相談したら快くOKしてく
 れました。これはやれる、と思ったら
 ワクワクして、今思えば開催まで
 あっという間でした」
 小林姉妹の決断と行動は早く、運

営には人手が必要と、友人達に声を
 かけ、集まった5人と共に実行委員
 会を組織。初めは前例のないイベン
 トに心配の声もありましたが、演者
 など協力者には熱意を伝え、時には
 現地を見てもらい説明するなど、と
 にかく足を動かしました。また、音
 楽イベントでは、音響やステージを
 始め、機材のレンタルだけでも大き
 なお金がかかります。そこで町の支
 援事業である「New アクション事業」
 (※)を活用。補助金を運営資金の一
 部に当てました。

「こだわりは型にはまらず、誰もが
 自由に楽しめるイベントであること。
 音楽のジャンルも老若男女の敷居も
 ない、誰もが笑顔になるお祭りが理
 想です」と妹の郁さん。「そして朝日
 町でやるからには、町の特産品や魅
 力を伝えたい。だからブースの出展
 は、町内のお店を中心に声がけしま
 した。皆さんとても好意的で、改め

て町のあたたかさを感じました」
 正直なところ、イベントの収支は
 現在赤字の状態。運営資金と人員不
 足の課題を感じながらも、「それを超
 える達成感と喜びがある」と、お2
 人は言います。
 「やりたいことが少しずつ形に
 なっています。例えば今回は、山形
 心体表現の会『La. シヴァ』という、
 障がいを持つ方々などで結成され
 たダンスグループが出演してくれま
 した。音楽や芸術には何の隔りも
 なく自由です。正に自分たちの目指
 すところがここにあります」
 来年以降もできる限り「霹靂祭」
 を続け、より良いイベントに育てて
 いきたいと意欲を語るお2人。今後
 も小林姉妹の活動に、応援をよろし
 くお願いします。

(※) 新たなイベントの立ち上げや、ま
 ちおし活動に対して支援する補助事業。



▲マイブックを手に笑顔の子どもたち
◀玄関いっばいに並んだ本から真剣に選びます

6/21 「宗生文庫」として毎年寄贈 西五百川小「マイブック」を選ぼう

6月21日、西五百川小学校で宗生（そうせい）文庫「マイブック」選定が行われました。

株式会社朝日相扶製作所創業者であり名誉町民である阿部宗一郎氏が、昭和57年に「宗生文庫」として開設し、毎年支援している読書推進活動。児童1人ひとりが選んだ読みたい本（マイブック）が、学校図書に寄贈されます。

1年生から順番に、玄関ロビーに並べられたたくさんのお見本の中から選定。次々と本を開きながら真剣に自分の1冊を探します。3年生の茅田唯夏さんは「パティシエになりたいのでこの本にしました」とお菓子作りの本を手に顔をほころばせていました。



▲豊作を祈願する神事は稲苗を玉串として奉納
◀ホウノキの葉に包んだ菓子を振る舞うのが習慣

6/26 今年の豊作と家族の健康を祈願する伝統行事 宇津野元気クラブ「お田植えまつり」

田植えの終了を祝い、豊作と家族の健康を祈願する上郷地区の伝統行事「お田植えまつり」が、6月26日、上郷公民館で行われました。

昭和初期から各家庭で行っていた風習が近年少なくなり、地区行事として10年前から「宇津野元気クラブ」が復活させたもの。稲苗を奉納し今年の豊作を祈願したほか、同地区ひまわり会の皆さんが作ったぼた餅、ホウノキの葉に包んだ豆菓子などが振る舞われました。

「子どもの頃、このお菓子とごちそうが楽しみだった」と話す宇津野元気クラブの皆さん。伝統文化として今後も末永く続けていきたいと思いを語り合いました。



▲あさひ保育園「かもしかクラブ」によるセレモニーの様子

6/15 交通事故のない安全なまちづくりを目指して 町交通安全町民大会

町民1人ひとりがルールとマナーを守り、交通事故のない安心で快適なまちづくりを推進するため、6月15日、町交通安全町民大会が創遊館ホールで開催されました。

寒河江地区交通安全協会、安全運転管理者協議会朝日支部などから構成される町交通安全推進協議会主催で、会員等約160人が参加。あさひ保育園児童によるセレモニーや功労者表彰、寒河江警察署朝日町駐在所長の片山智之氏による講話などが行われました。大会最後には、参加者全員で「大会宣言」を唱和。交通事故のない明るいまちづくりのための誓いを確認しました。



◀町女性文化教室の皆さんによる、小物づくり体験教室も開催

6/14~15 町女性文化教室「パッチワーク教室」の皆さん等 高田の古民家で作品展

6月14・15日の2日間、高田地区の佐竹庄吉さん宅でパッチワークや俳句、絵画などの作品展が開催されました。

主催は高田の古民家で芸術を楽しむ会（佐竹敦子代表）。町女性文化教室「パッチワーク教室」に参加していた佐竹代表が、これまで町創遊館で行っていた展示を自宅の古民家で開催しようと企画したものです。

当日は作品の展示のほか、同教室の皆さんによるポケットティッシュケースづくりの体験教室を実施。大変好評で、訪れた人々は、精密かつ素早い針仕事に見入り、熱心に教わっていました。



7/3 防衛運転実施中！交通事故のない町をめざして 西村山地区自動車安全運転競技大会

第38回西村山地区自動車安全運転競技大会が7月3日、寒河江自動車学校で開催されました。

安全運転管理者選任事業所の従業員を対象に、運転技能の向上、交通安全意識の高揚などを図り実施するもの。

今年は53人の参加者が、男・女・オープンの3クラスに分かれ、学科と日常点検、運転実技試験を行いました。

町からは3事業所から8人が出場し、12年ぶりとなる団体優勝。また、男性の部で鈴木貴典さん、女性の部で阿部夏弓さん（両名とも朝日町役場）が準優勝に輝きました。

受賞した鈴木さんは「交通安全の大切さを再認識した。今後も安全運転を心がけたい」と笑顔で語っていました。

ホームページに写真



◀フォークソンググループ「影法師」の皆さんと、主催「星の会」の皆さん

6/18 緑あざやかな庭と古民家に響くフォークソング 星の会「影法師コンサート」

6月18日、星の会（成原千枝代表）主催「影法師コンサート」が新宅（すんたく）今井家「宿（しゅく）のやかた」で行われ、約40人の観客が参加しました。星の会は、民話や昔の暮らしを通じたまちおこしを目的に結成。生糸商で財を成した五代今井五郎八家の分家として明治24年に建てられた古民家「宿のやかた」を拠点に活動しています。

平成28年は10月までの月1回、昔話語りやゲストを招いたコンサートを企画。今回のゲスト「影法師」は長井市在住の4人によるフォークソンググループで、観客たちは鮮やかな緑の庭と古民家の静かなたたずまいに包まれながら、どこか懐かしく胸に染み入る音楽を楽しんでいました。



6月19日、朝日連峰夏山開きに初めて参加しました。朝日町へ来て1年、満を持しての挑戦です。本格的な登山は小学生の頃のボーイスカウト富士登山以来、約18年ぶり。役場職員の伊藤さん、鈴木さん、ウサヒの中の人こと佐藤恒平さん、同じ地域おこし協力隊で移住・交流推進員の阪野正義くんの合計5人で、安全祈願祭が行われる朝日嶽神社を目指し、朝日連峰の一角・鳥原山に登りました。



町地域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊員と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。



「山が教えてくれたこと」

朝日町情報交流推進員 青木亮太（三重県出身）

れた跡がありました。それは、山を愛する人たちによって朝日連峰が守られている証です。登るだけでも大変なのに、重たい荷物を背負って山道整備をされている山岳会の皆さんには、ただただ尊敬の念でいっぱいになります。

案内人と天候に恵まれ、気持ちの良い汗をかくことができました。鳥原山展望台から見た景色も、小屋で食べた美味しいご飯も、登った人にしか味わえないものです。汗をかけた分、自然のご褒美をいただくことができました。

また、山登りは、人生の例えとしてしばしば用いられますが、山の登り方も実に人それぞれで、なんとなくその人の生き様を見ているような気がしました。私のようにおっかなびっくり一歩一歩確かめながら登る人、おしゃべりせずに黙々と登る人、集団から離れても自分のペースを保って登る人。私の信条である「人のふり見て我がふり直せ」を改めて山から諭され、足元を見つめ直した一日でした。



夏場の食中毒を防ぐ 3つの約束

今月の担当…菅井 久美子 管理栄養士



腹痛や下痢、おう吐などの症状が急に出た時「もしかして、食中毒だべが?」と不安になりませんか。国の調査によると、平成27年は全国で1202件の食中毒が発生。患者数は2万2718人、死者数6人となっており、なんと家庭でも発生しています。

6月から8月の夏場に多く発生する食中毒は、O-157やカンピロバクターなどの細菌が原因です。家庭での食中毒は、みなさんの工夫で防ぐことができます。細菌は食べ物の中で増えるという特徴がありますので、食べ物に食中毒菌を「つけない」「増やさない」「やつつける」。この3つの約束を守り、夏場の食中毒を防ぎましょう。

1つ目の約束「つけない」。手には様々な細菌がくっついていて、料理の前、肉や魚卵を触った後、食事の前、動物に触れた後、トイレの後など、必ず手を洗いましょう。

2つ目の約束「増やさない」。多くの細菌は、10℃以下で増殖速度がゆっくりになります。冷蔵庫の温度がおよそ10℃ですので、生鮮食品やお惣菜などは、購入後、できるだけ早く冷蔵庫に入

れましょう。ただし冷蔵庫の中でもゆつくりと細菌は増えていきますので、早めに食べることも大切です。

3つ目の約束「やつつける」。ほとんどの細菌は、75℃以上の温度で1分加熱することで、やつつけることができます。食材だけでなく、スポンジやまな板も熱いお湯をかけることで殺菌することができます。こまめに殺菌しましょう。

辛いおう吐や下痢ですが、原因物質を排除しようとする体の防衛反応です。症状が出て市販の下痢止めをむやみに服用せず、早めに医師の診断を受けましょう。

▼問合せ先
健康福祉課 健康推進係
☎ 67・2116



「養正館のひぐらし」 野口 千明 著

慶応4年（1868年）の戊辰の役において、出羽天童藩が奥羽鎮撫総督府の先導役を命じられ、中老吉田大八がその名代を担われた庄内藩征討戦。これを天童藩の藩校養正館に学ぶ少年たちの目線で描いた時代小説。著者は天童市在住。

「その他の新刊」

▼牛姫の嫁入り／大山淳子 代体／山田宗樹 ▼竜と流木／篠田節子 ▼さよならクリームソーダ／額賀澤 ▼採用学／服部泰宏 ▼万引き老人／伊東ゆう ▼ひと目でわかる! 図解「実家の相続」レガシー ▼ママ、もうと自信をもって／中川李枝子 ▼エコな生活／マキ ▼るるる山形17 鶴岡 酒田 米沢 蔵土 ▼秋霜／葉室麟 ▼少女奇譚 あたしたちは無敵／朝倉かすみ ▼総選挙ホテル／桂望美 ▼神奈備／馳星周 ▼老いも病も受け入れよう／瀬戸内寂聴 ▼産廃Gメンが見た食品廃棄の裏側／石渡正佳 ▼アンと青春／坂本昌 ▼遊園地に行こう／真保裕 ▼三の隣は五号室／長嶋有 ▼縁は異なもの／松井今朝子 ▼ポラーラスター／海堂尊 ▼横浜1963／伊東潤 ▼逆説の世界史2／井沢元彦 ▼岳飛伝17／北方謙三 ほか

【ブックテーマコーナー】

リオ オリンピックももうすぐ開幕! 「元気にスポーツを楽しもう」

朝日町文化財探訪

第24回 土偶・石棒

町指定有形文化財 | (考古資料/昭和45年指定)|

共にヒデリ田遺跡から出土したもので、土偶は頭と腰の部分が欠けていますが、板状で、縄文時代中期のものとしては珍しい形です。石を磨（みが）いて作った石棒は縄文時代中期の標準的なもので、土偶の年代を知る上で重要なものです。

この土偶は、よくイメージされる「遮光器土偶」（青森県亀ヶ岡遺跡）や「縄文の女神」（山形県西ノ前遺跡）などの立体的なものとは違って、「板状（ばんじょう）土偶」と呼ばれるもの。やや厚みのある平面で、逆三角形や十字形などで人の形を表しているよ。縄文時代早期から前期に多く作られ、時代を経るにつれて表情や模様が細かく表現されるようになったんだ。石棒は円柱の両端または一部を瘤状に作っているのが特徴で、火に関連した祭祀や呪術的な場面で使用されたと考えられているよ。

ウサヒの眼

戸籍のまど

Asahi town

6月1日～6月30日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
栗木沢	遠藤 希莉斗	男	浩・美幸
栄 町	瀬尾 真理菜	女	恭一・沙弥香
八ッ沼	阿部 心と	女	渡・登美子
西 町	白田 眞理	男	淳・美奈子

Marriages

おしあわせに

長岡 和弥 (前田沢)	大山 彩 (河北町)
長岡 陽介 (常盤)	後藤 佳那 (寒河江市)

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
下芦沢	大 滝 芳 枝	賢 吉
大谷三	白 田 ちよゑ	千代喜
古 槇	清 野 きみ	太 郎
松 程	長 岡 重 子	睦
古 槇	渡 邊 忠 治	勝 良
元 町	澁 谷 フ ジ	重 雄
太郎一	長 岡 よしゑ	睦
助ノ巻	峯 田 武 治	浩 樹
大 滝	柴 田 昭 子	茂 夫
松 程	白 川 き ぬ	雄 熙
松 程	長 岡 庄 作	夫 美
太郎一	長 岡 ひでよ	秀 子
常 盤	阿 部 つね	節 郎
常 盤	阿 白 きみ	光 光
松 原	白 岡 利 八	利 紀
夏 草	長 松 尾 元	皇

Population

人口と世帯数

●平成28年 6月30日 現在

※()内は先月比

人 口	7,298 人 (-28)
男	3,605 人 (-13)
女	3,693 人 (-15)
世帯数	2,491 世帯 (-8)

----- 6月中の異動 -----

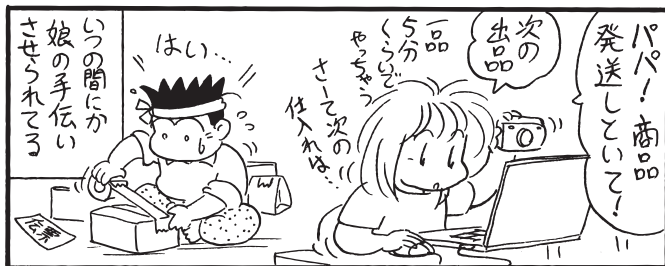
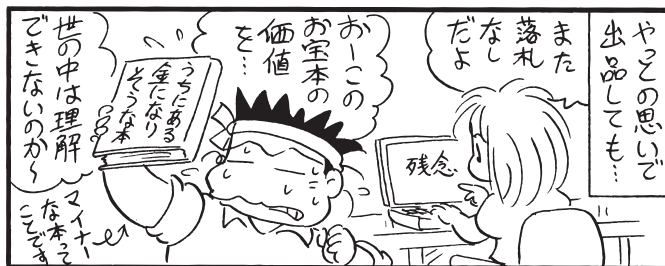
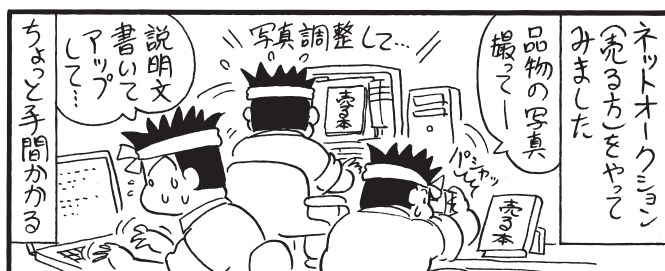
出生	4人	転入	6人
死亡	18人	転出	17人

(※外国人を含む)

とないのリンゴさん

(284)

ホリイ



みなさんからのおたよりなどで作るコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などをお寄せください。
無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係 ☎67-2112
メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

VOICE

町民の声



11時半のサイレンに毎日びっくり。
何とかならないの？

新

しく設置された防災無線について、午後4時の音楽は大変良いのですが、午前11時30分のサイレンにいつもビックリします。複数のサイレンが連鎖状態で聞こえ、音も大きいのでなおさらです。また、サイレンだと火事かと思つて不安になるので、廃止または音を変更する等、対応をお願いします。

平

成27年12月18日から運用を開始したデジタル同報系(※)防災行政無線は、町内40カ所に設置した屋外スピーカーへの試験放送を①午前8時25分、②午前11時30分、③午後4時の毎日3回実施しています。11時30分のサイレンは、これまでの歴史も鑑みて引き続き行ってきたものですが、ご意見を受けて

他2回の試験放送で運用上支障が出ないよう、システムの見直しを行いました。よつて7月18日(月)より、午前11時30分のデジタルサイレンの放送を廃止いたします。なお、同時吹鳴している従来のモーターサイレン(町内宮宿・和合・常盤・大谷に設置)につきましては、別システムでの運用につき、これまで同様に吹鳴いたします。ご了承ください。【総務課防災係】



【質問①】

今

回導入された町職員のユニフォームは町民にとつてメリットがあるのでしょうか。何が目的かわかりません。中学校やスポーツのユニフォームであればわかりますが、役場を前面に出す必要はあるのでしょうか。

【質問②】

町

職員のユニフォームは毎週火・金のみの着用とのことですが、毎日着用すべきではないでしょうか。その方がより町をPRできます。また、色はなぜ黒なのでしょう。もっと明るい色の方がさわやかな印象を持つてもらえると思います。

【回答】

町

は昨年「親しみやすい役場ナンバーワンプロジェクト」に取り組み、その一環で夏場のポロシャツ着用

職員ポロシャツの目的は？
色はどうして黒なの？

を進めています。その具体的な目的は次の3点です。

①広告媒体

町職員の業務はとも幅が広く、日々各地で様々な人との会、話をしています。言わば職員は大きな「広告媒体」です。着用を通じてミズノ株式会社との提携や、新しいことに積極的に挑戦する町をPRしています。

②求人媒体

優秀な人材の確保は、どんな組織でも大事な要素で、朝日町役場にとつても同じです。いい人材の確保には若い世代に「ここで働きたい」と感じてもらうことが大切です。統一ユニフォームで雰囲気づくりに努め、「町職員になって、町のために働きたい」と次世代が憧れる組織を目指しています。

③チームビルディング

「二つのゴールを目指し、メンバーが個々の能力を最大限に発揮しつつ二丸となって進んでいく」。そうした組織づくりや、チームをまとめる手法を「チームビルディング」といいます。

ユニフォームをそろえることは、これを進める上で大切な要素です。朝日町役場として、一つのスポーツチームのように一体となつてまちづくりに取り組む姿勢を発信しています。

◆色・着用日について

色につきましては、来庁者に不快に思われないことを第一に選びました。明るい色は肌や下着が透けやすいため対象から外しました。最終的に、ワッペンの色合いとの相性を考え、黒としたところです。

着用日を週2日としているのは、予算上支給枚数が限られているためです。毎日着用できればよりPRにつながりますので今後検討いたします。

【総務課・政策推進課】





朝日サンフラワーズ ティースポール県大会 準優勝

全国大会の予選を兼ねる第10回県小学生ティースポール大会（日本ティースポール協会山形県連盟主催）が7月2日、県総合運動公園（天童市）で開催され、町スポーツ少年団「朝日サンフラワーズ」が準優勝で全国大会出場を決めました。大会には地区予選を突破した県内32チームが参加。同競技での全国大会出場は町内史上初の快挙となります。

ティースポールとは、投手のいない野球に似た競技で、細い棒状の台に乗せたボールを打ち、攻守を競うもの。今大会は小学校1年～4年生で構成されたチームが対象です。

全国大会出場決める

予選ブロックでは、昨年敗北を喫した新庄ビクトリーパワーズと1回戦引き分け。2回戦の勝利を経て同チームと勝ち星同数、決定戦のすえ雪辱を果たし、予選を突破しました。

「どのチームも強かったけど、みんなで良い球を打って、勝つことができました」と語る主将の海藤珀くん（常盤／西五百川小4年）。「全国大会は憧れのプロ選手も試合する場所。1試合でも多く勝って、たくさん試合がしたい」とやる気十分です。

全国大会は8月18日、埼玉西武プリンスドームを会場に行われます。あたたかい応援をよろしくお願いします。

県大会の戦跡

■予選ブロック

1回戦	対	ビクトリーパワーズ（新庄）	△	12 - 12
2回戦	対	ブルーエンジャーズ（酒田）	○	15 - 8
決定戦	対	ビクトリーパワーズ（新庄）	○	3 - 1

■決勝トーナメント

準々決勝	対	レッドイーグルス（天童）	○	10 - 6
準決勝	対	ビッグサンダース（舟形）	○	8 - 7
決勝	対	天童南部小（天童）	×	2 - 13
		ウルファイアーズ		



春夏秋冬 編集後記

朝日のきらめく
星たち

ただけでも、いかに多くの大人の助けがあったかが分かります。

当時の自分がそれをきちんと理解していたとは言い難いですが、とある指導者の方が「自分は、ただ彼らと一緒に活動するのが楽しい」と仰っているのを聞いて、あえて意識しなくても伝わるものはあるのだと感したところです。

今回結果が出せた子も、惜しくも負けてしまった子も、お疲れさまでした。これからもどうか元気に、町にその輝きを届けてください。

村山 彩

地区中総体での朝日中勢の健闘、朝日サンフラワーズの全国大会進出など、朝日っ子の活躍が目立つ今月号となりました。子どもたちの頑張りはもちろんのこと、ご家族や地域の指導者の皆さんの支えがあつてこそだと思います。私も中学は運動部で、週末や長期休みも練習や試合がありました。すると母はいつでもお弁当やドリンクを作り持たせてくれたし、学校からはスクールバスが出て、その練習試合も顧問の先生方が調整して組んでくださったもの。こ